

事後評価書

事業名	三木浦漁港海岸 海岸環境整備事業	事業区分	水産基盤整備事業（水産庁）	室名	水産基盤室														
事業概要	工期	平成6年～平成15年	全体事業費	1,413百万円（負担率：国1/3：県2/3）															
	（下段当初）	平成6年～平成16年	（下段当初）	1,525百万円（負担率：国1/3：県2/3）															
事業目的及び内容		事業目的： ① 海岸環境整備事業にあわせ、海浜を利用したレクリエーション活動の場を提供することにより、地域住民の生活空間の向上、漁村と都市との交流を図り、地域の活性化を支援する。 ② 高潮・波浪等の異常気象時に、海岸背後の住民の生命・財産を守る。																	
		事業内容：整備延長L=145.5m 全体事業費：1,413百万円 <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">内 容</th> <th style="width: 50%;">事業費（百万円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>突堤 L=175.0m</td> <td>557</td> </tr> <tr> <td>護岸（緩傾斜） L=145.5m</td> <td>219</td> </tr> <tr> <td>護岸 L=132.8m</td> <td>139</td> </tr> <tr> <td>人工リーフ（潜堤） L=73.0m</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>養浜 A=4,180m²</td> <td>330</td> </tr> <tr> <td>付帯施設 1式</td> <td>133</td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td>1,413</td> </tr> </tbody> </table>				内 容	事業費（百万円）	突堤 L=175.0m	557	護岸（緩傾斜） L=145.5m	219	護岸 L=132.8m	139	人工リーフ（潜堤） L=73.0m	36	養浜 A=4,180m ²	330	付帯施設 1式	133
内 容	事業費（百万円）																		
突堤 L=175.0m	557																		
護岸（緩傾斜） L=145.5m	219																		
護岸 L=132.8m	139																		
人工リーフ（潜堤） L=73.0m	36																		
養浜 A=4,180m ²	330																		
付帯施設 1式	133																		
事業費合計	1,413																		
		事業経緯： <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 平成6年度 平成8年度～平成14年度 平成13年度～平成14年度 平成12年度、平成15年度 平成12年度、平成14年度 平成13年度 平成14年度～平成15年度 平成15年度 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top; border-left: 1px solid black;"> 事業着手 突堤 養浜 護岸（緩傾斜） 護岸 人工リーフ（潜堤） 付帯施設 事業完了 </td> </tr> </table>				平成6年度 平成8年度～平成14年度 平成13年度～平成14年度 平成12年度、平成15年度 平成12年度、平成14年度 平成13年度 平成14年度～平成15年度 平成15年度	事業着手 突堤 養浜 護岸（緩傾斜） 護岸 人工リーフ（潜堤） 付帯施設 事業完了												
平成6年度 平成8年度～平成14年度 平成13年度～平成14年度 平成12年度、平成15年度 平成12年度、平成14年度 平成13年度 平成14年度～平成15年度 平成15年度	事業着手 突堤 養浜 護岸（緩傾斜） 護岸 人工リーフ（潜堤） 付帯施設 事業完了																		
1. 事業の効果																			
1. 事業目的の評価 ① 直接効果 【利用面】 <ul style="list-style-type: none"> ・当海岸は海水浴場として利用されており、平成20年度には2,199人に利用されている。 ・当海岸が造成されたことにより、地域住民の生活空間が向上しており、地域住民の散策の場となっている。 ・当海岸はスキューバダイビング客にも利用されており、平成20年度には1,616人に利用されている。 【防護面】 <ul style="list-style-type: none"> ・三木浦漁港海岸整備前は、護岸が整備されていないため高波浪時に越波による浸水被害が懸念されていたが、人工海浜・潜堤（人工リーフ）・緩傾斜護岸等の整備後は、これらの施設による消波効果により、越波被害の軽減が図られている。 ② 間接効果 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民にレクリエーションの場を提供することを目的に海浜を整備したが、ウミガメの産卵が確認され、新たな自然環境が創出された。 2. 事業効果の評価 <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年時点でB/Cは、1.53である。 ・事業着手当時は費用対効果分析の考え方はなく、海岸整備事業五ヶ年計画の位置づけのもとに、事業の採択基準を満たすことから事業着手した。 																			
2. 事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化																			
1. 事業実施中の環境面への配慮 <ul style="list-style-type: none"> ・養浜の施工にあたっては、施工中に濁り拡散防止フェンスを設置し、周辺への濁り対策を行った。 2. 事業実施による周辺環境の変化 <ul style="list-style-type: none"> ・本海岸は海水浴場等として利用されることを目的に整備したが、ウミガメの産卵が確認された。近年では、尾鷲市周辺でのウミガメ産卵事例は珍しく、新たな自然環境が創出されている。 ・尾鷲市が行った水質調査で、平成20年は「水質A」、平成21年は「水質AA」の判定があり、良好な水質が保たれている。 																			

3. 事業を巡る社会経済情勢等の変化

1. 海岸の利用状況の変化

- ・地域住民が散策・休憩施設として利用しており、地元住民の憩いの場となっている。
- ・この地域には砂浜海岸が無かったため、子供たちが安心して遊べる場として利用されている。

2. 背後地の防護対象の変化

- ・三木浦漁港海岸背後の人家・漁家の状況は計画時からおおきな変化はない。

4. 県民の意見

1. アンケートの概要

- ・平成21年に三木浦漁港海岸の利用者（250名）及び三木浦漁港海岸周辺住民（45名）の計295名に対してアンケートを実施

2. 利用者のアンケート結果

2-1. 満足している意見

- ・海の眺望、周囲の景色、海水浴場ともに素晴らしい。
- ・小さい海岸で全体が見渡せ、安心して子供を遊ばせることができる。
- ・ウミガメが産卵する場ができて良いと思う。
- ・駐車場が無料のところが良い。
- ・尾鷲から近くて良いと思う。

2-2. 不満、改善を要する意見

- ・海辺の漂着物や、砂浜のゴミを清掃してほしい。
- ・トイレ周辺にゴミ箱を設置してほしい。
- ・温水シャワーを整備してほしい。
- ・有料でも構わないのでキャンプが出来ると良い。
- ・さらに利用しやすい施設にしてほしい。
- ・トイレ・更衣室が年中使用できると良い。
- ・不要な施設であり、環境破壊である。

3. 住民のアンケート結果

3-1. 満足している意見

- ・これまで無かった砂浜ができて水辺に近づけるようになった。
- ・イベントが開催されて、他地域の小学生との交流ができた。
- ・ウミガメが産卵するようになって環境が良くなったと思う。
- ・多くの人が訪れるようになって活気がでてきた。
- ・公園ができて憩いの場として利用している。

3-2. 不満・改善を要する意見

- ・人が多くなってゴミが増えたため、処理が必要である。
- ・トイレやシャワーのメンテナンスをしっかりとしてほしい。

5. 今後の課題等

1. 事業実施による課題と留意点

- ・施設の維持管理は、地域住民が担うところが大きいと、計画段階から維持管理体制についての検討が必要である。
- ・施設の利用を高める啓発活動と、これを担う関係組織の連携が必要である。

2. 課題への対応方針

- ・地域住民の参画を得て、整備計画から施設管理について意見調整を図り、維持管理の役割分担等を明確にしておく。
- ・施設の魅力を伝えるPRやイベント等の開催を行う地域の組織づくりをサポートする。